

そよ風

第4号

今治市立立花中学校

「聴く」ということ

1学期も後半にさしかかっている今日この頃、様々な場面での人間関係が気になり始めているのではないのでしょうか。多様な価値観をもつ社会の中で、お互いの人権を尊重し、よりよい人間関係をつくっていくには、どのようなことを心掛ければよいのでしょうか。良好な人間関係を築くコミュニケーションを高めるためには、「話す」力を身に付けることだと考えられがちですが、まずは、「きく」ことが大切です。「きく」には、「聞く」「聴く」「訊く」の3つの種類があります。この3つの違いを知っていますか。

「聞く」・・・聞こえる。音声として耳に入っている。聞き手が自分の都合のいいところだけを聞いている。意識せずなんとなく聞いている。

「聴く」・・・積極的に耳を傾けて話を聴く。聴いた内容を理解して、それに応える。

「訊く」・・・たずねる。聞き手が訊きたいこと、知りたいことだけ訊く。

「聴く」ということは聞き手が内容を理解するだけでなく、話し手も「聴いてもらえている」ことを実感でき、より理解してもらおうと努めます。自分の話をしっかり聴いてくれたり、共感して聴いてくれたりすると「自分は大事にされている」という気持ちが生まれます。

「相手の話にじっくりと耳を傾ける」という聴き方を「傾聴」と言います。そして、その基本姿勢は次の3つです。

- ① ひたすら相手の話を「聴く」こと。
- ② 話をただ「聞く」のではなく、注意を払って「聴く」こと。
- ③ 話に「共感」し、それをありのまま認め、うなづくこと。

聴く力を高め、豊かな人間関係を築いてきましょう！

? 子どもが家に帰ってきて「けんかした・・・」と話しました。お母さんは3つのパターンで答えています。あなたはどのように「きき」ますか？

A 「聴く」

- 相手の言葉を受け止めている。
- 相手がどういった気持ちだったのかなというところに焦点をあてて聴いている。

B 「訊く」

- 自分が知りたいことを訊ねる。
- 自分のほうが相手より多く話す。
- 自分が予想している答えが返ってくることを期待している。